

第 5 号議案 2008 年度事業計画（案）承認の件

当協会は、インターネット関連事業を行なっている事業者団体としてインターネット普及・発展の活動を活発に行っており、その活動の重要性はますます高くなってきています。

本年度も、協会の中核的活動である部会活動の積極的な展開と横断的な協会活動を進めて行きます。

協会活動計画

協会全体としての、2008 年度の活動計画は次の通りです。

1. インターネットの普及・発展の活動

- (1) NGN の本格的なサービス拡大に伴い、IPv6 インターネット接続サービスの課題について解決を図るために関係者との協議を進める。
- (2) 個人情報保護推進センターへの協力を行い、個人情報保護の推進を業界あげて行うよう支援を行う。また会員会社がセンターへ登録する際の便宜を図る。
- (3) プロバイダ責任制限法ガイドライン検討協議会へ参加し業界団体としての意見を盛り込むよう提言を行う。
- (4) 電気通信サービス向上推進協議会では広告表示自主基準を中心に電気通信サービスの向上を図る動きに協力する。
- (5) 違法・有害情報に対するフィルタリングについては行政部門や関係団体等と密接な連携を取って普及・啓発を行う。
- (6) NMRC に参加し、ネットワーク上の音楽著作権に関する業界間の調整を行う。
- (7) インターネットガバナンスに関する議論が世界で盛んになる中、ICANN 会議、IGF 会議へ参画し、情報収集を行う。また関係する経団連や JPNIC、IGTF 等を始めとする諸団体と情報・意見交換を行う。
- (8) 迷惑メール対策として行われている OP25B 関係の情報交換を円滑に進めるために (財) データ通信協会およびレンタルサーバオラグと共催で OP25B 連絡会を運営する。また IAJapan が主催する「迷惑メール対策委員会」にも参加する。
- (9) 衛星インターネット推進協議会に参加して、デジタル・デバイド解消のために衛星インターネットの普及を図る。
- (10) 電気通信事業者 4 団体や関係団体等と連携してインターネットの普及・発展に寄与するガイドラインの策定等の諸活動を積極的に行う。
- (11) 沖縄 ICT フォーラム 2008 を開催して、業界が取り組むべき諸課題について意見交換を行う。

2. 社会貢献活動

- (1) 「e-ネットキャラバン」への会員会社の協力の支援を行い、インターネットの安全安心な利用促進を図る。
- (2) 情報通信を安心・安全に利用するためのルールやマナーについて啓発活動を行う「情報通信における安心安全推進協議会」に参加して活動に協力する。
- (3) 「情報通信月間推進協議会」に参加して情報通信の普及・振興を図る活動に協力する。

3. 総務省等行政への意見の反映

- (1) インターネットに関連する政策課題を議論する「インターネット政策懇談会」や「通信プラットフォーム研究会」等の通信政策に係わる各種委員会に積極的に参加し ISP としての意見を反映する。
- (2) 違法・有害情報対策を検討する「インターネット上の違法・有害情報への対応に関する検討会」、迷惑メール対策を検討する「迷惑メールへの在り方に関する研究会」、利用者の利便の確保・向上について検討する「電気通信サービス利用者懇談会」等のインターネットの利用者に関する課題を検討する各種委員会等に積極的に参加し、ISP としての意見を反映する。
- (3) インターネットに関連する行政機関等の意見募集に対し ISP としての意見書を提出する。
- (4) 総務省や他の省庁、および関連団体等主催の連絡会、懇談会等に参加し、施策や法案及びガイドライン作成等に ISP としての意見の反映を行う。

4. 国際交流

- (1) 韓国インターネット基盤振興協会と第4回日韓 ISP 交流会を韓国で開催する。
- (2) アジア共通のドメイン名、DotASIA レジストリーとの交流を行う。

5. 調査・研究

- (1) インターネットの利用実態に関する調査研究を行う。

6. 事業

- (1) 安全・安心マークの運用とマーク取得企業の拡大促進を行う。
- (2) ニュース・サーバ共同利用の運営を行う

7. 広報活動・その他

- (1) 会員向け広報活動として「JAIPA Express」の発行を行う。
- (2) 一般向け広報活動として、小冊子等の発行やセミナーなどの開催を行う。
- (3) ドットコムメイト問題作成部会への参加を行う。

部会活動計画

1. 行政法律部会

部会長	甲田 博正	NTT コミュニケーションズ株式会社
副部会長	野口 尚志	EditNet 株式会社
副部会長	木村 孝	ニフティ株式会社

前年度に引き続き当部会では、インターネットプロバイダーに係わる諸問題の法整備等に対して、行政等への意見具申や協会会員への情報提供などを活動の目的として参ります。

特定電子メールの送信の適正化等に関する法律の一部が改正したのをはじめ、インターネット上の行為に関する法制度が徐々に整いつつありますが、日々予想外の問題が発生してきております。本年度は昨年度に引き続き「通信の秘密」を中心とした、電気通信事業者が事業をすることにより、考えなくてはならない法律を現状と照らし合わせながら議論して参ります。また、現在問題になっているインターネット上の違法・有害情報への対応としてフィルタリングの義務化が問題になっております。特に青少年への対応が検討され、今後の大きな課題として考えていきたいと思っております。そしてこのような問題に迅速、且つ適切に対応するため関係省庁とも連携を図りながら、利用者の皆さんの安全・安心な利用とインターネット業界の適正な発展を目指して取り組んでいきたいと考えております。

また、事業者団体を中心になって活動をしている会議や、総務省主催の会議が多数有り、本部会の主要メンバーが参加しております。そこでの活動を部会の皆様方にお知らせし、意見交換を行い、行政等に意見をまとめて発信しております。当部会が取り組みたい案件は山積みになっておりますが、ぜひ皆様にもご参加いただき、ご意見やご提案をいただき、ご協力をお願いいたします。さらに、どのくらいの規模で出来るかはわかりませんが、上記のような情報を発信する場として「インターネット上の法律勉強会」開催を予定しております。

今後の活動予定

■ 法律勉強会・意見交換会の開催

- ・ 現行の法制度についての実務上の課題、現在取り上げられている案件についての検討状況報告と意見交換。講師を招いての勉強会も行う。

■ 「インターネット上の法律勉強会」の開催

- ・ 1年間の活動や問題点等を講演やパネルディスカッションを通じて、情報提供や議論を行うと共に JAIPA の活動を広く認知させる。

■ その他の活動

- ・ 「インターネットの安定的な運用に向けた検討協議会」
総務省と協力し、「通信の秘密」に関する課題と問題解決に向けた一定の方向性を検討する会。2007 年度は、前年度に検討されたガイドラインについてさらに検討し、周知する。

- ・ 「プロバイダ責任制限法ガイドライン検討協議会」
「著作権関係 WG」、「名誉毀損・プライバシー関係 WG」、「商標権 WG」、「発信者情報開示関係 WG」にそれぞれ参加。発信者情報開示関係においては、ガイドラインを策定
- ・ 「インターネット上の違法・有害情報への対応に関する研究会」
- ・ 「電気通信事業分野におけるプライバシー情報に関する懇談会」
- ・ 「プロバイダによる本人確認の在り方に関する連絡会」
- ・ 「ファイル共有ソフトを悪用した著作権侵害対策協議会」
- ・ 「フィルタリングの普及啓発アクションプラン」
- ・ その他、多数の会議に出席し、協会内での情報共有をしていく。

2. 地域 ISP 部会

部会長	高橋 佑至	株式会社ネットフォレスト
副部会長	鎌倉 忍	ディーシーエヌ株式会社
副部会長	晋山 孝善	株式会社仙南情報技術センター

当部会は、メンバーが地域的に離れていることから全国各地で「地域 ISP の集い」を行って、それぞれの土地での取り組み状況の発表をしたり、情報交換を兼ねた交流を行っております。「地域 ISP の集い」と毎月の会議開催で課題にあがったものを検討し解決策を見出していくことを目的としています。毎月の会議には 20 名程度の参加者があり、活発に議論をしております。特に最近 NGN や IPv6 が絡んだネットワーク関係の変化が大きく、総務省や他団体との会議に参加しているメンバーが会議内容を展開して、情報共有と意見交換をしております。

本年度は、昨年度と違った内容を取り入れ、さらに密度の濃い交流の場として、「地域 ISP の集い」を開催。毎月の会議にてそれぞれの会社の取り組みやインターネット上で流行っているもの、現在問題になっているものをピックアップしてメンバーが講師をするミニ勉強会を今後も続けていきたいと考えております。さらに NGN 関係や、IPv6 関係の現状と今後の方策など、今後の地域 ISP にとっても重要な課題となることから新しい情報を収集し、積極的に意見交換や勉強会を実施していきたいと思っております。

そのほかに、若手エンジニアの教育を企業の枠を超えて実施することを目的として、地域 ISP 部会に加盟する各企業のエンジニア同士で情報交換をする場として、昨年度『技術者交流分科会』が設置されました。参加資格は『地域 ISP 部会加盟企業のエンジニア』とし、現在メーリングリストによる活発な情報交換と月 1 回のオフ会を開催しております。

今後の活動予定

■ 地域 ISP の集い

- ・ 毎年行われている「地域 ISP の集い」を行い、普段なかなか参加できない方々との情報交換と地域の問題などを検討する場所を提供。

■ 各種勉強会

- ・ 毎月、メンバーが講師を担当する「ミニ勉強会」の開催
- ・ NGN、IPv6 関係の勉強会、意見交換会の開催

■ 「技術交流分科会」と地域 ISP 部会との意見交換会

■ 共同利用の充実

3. ホスティング部会

部会長	青山 満	GMO ホスティング&セキュリティ株式会社
副部会長	西 紀之	株式会社ヒューメリア
副部会長	村越 裕之	コスモメディア株式会社

インターネットの日常社会への浸透が進み、利用者数の増加だけでなく、その利用形態も情報収集だけでなく、コミュニティへの参加、情報の発信など、幅を広げています。このような状況下において、ホスティング事業も急速な発展を続けており、サービスに対する要求もますます大きくなっています。

本年度は、毎年恒例となったビジネス交流イベント「HOSTING-PRO」などへの参加を通して、今後ホスティング事業者全体が考え、取り組んでいかなければならない課題や問題点を洗い出し、業界全体の更なる発展を目指したいと考えております。

加えて、部会参加企業に限らず、会員全体を対象とした勉強会を開催し、セキュリティの確保やサービスの安定的な提供、新しいサービスへの取り組みなどについて、ホスティングサービスの最新の情報を共有し、お互いのレベルアップと交流の促進を図っていきます。

さらに、一般に対する周知啓発活動の一環として、昨年度まで整備してきたホスティング関連用語の解説 Web コンテンツを活用し、オンラインメディアへのコンテンツ提供など、効果的な露出を図っていく予定です。また、Wikipedia などインターネット上での情報源におけるホスティングサービス関連用語の説明についても目をむけ、内容の充実と適正化を進めていきたいと考えております。

なお、昨年度までの部会名の「レンタルサーバ」はサービス普及期に用いられた和製英語ですが、最近はより広範なサービスを示す「ホスティング」が日本国内でも一般的に用いられるようになったため、部会名を「ホスティング部会」と変更いたしました。

今後の活動予定

- インターネット上の情報コンテンツの充実・適正化
- ホスティング事業者向け勉強会の開催
- 「HOSTING-PRO 2009」への参加

4. ユーザー利用促進部会

部会長	神崎 茂樹	NTT コミュニケーションズ株式会社
副部会長	持麿 裕之	NEC ビッグロープ株式会社
副部会長	戸邊 照雄	ニフティ株式会社

ブロードバンド化は急速に拡大していますが、昨今のインターネット市場をみると二つの課題があるのではと考えています。

ひとつは、市場全体が伸び悩んでいることです。特にシニア層の普及がなかなか進まない現状があることから、部会では同じ世代で利用されている方々のご紹介をすることで、利用の弾みになればと考え、昨年度から検討してきた「シニアのインターネット活用コンテスト」を開催いたします。

もうひとつは、インターネットによる様々なトラブルに巻き込まれることが多くなってきていることです。そのためにインターネットを敬遠する声も聞こえてきています。利用者がインターネットの便利さ楽しさなどを経験できるとともにインターネットを活用する上でトラブルに巻き込まれないような啓発は重要と考え、現在ある Web「インターネットを楽しむために」や、「著作権を楽しもう！」について、誰に何を発信していくかを再検討し、改めて本部会としての Web を検討していきます。

今後は、他部会との交流も含め、勉強会を行い会員相互の情報交換の場をもっと設けられるようにしていきたいと思っています。

今後の活動予定

■ シニア向けのインターネット利用促進

シニアにネットの利用方法の自慢を行なって頂き、その利用方法を成功事例として紹介することで利用促進および利用者拡大を図る。「シニアのインターネット活用コンテスト」の開催。

■ 『安全・安心』をコンセプトに

利用者がインターネットを安心して利用できるための活動。「インターネットを楽しむために」「著作権を楽しもう！」等 Web の全面的改訂

■ インターネットのさらなる発展のため部会員および協会員が興味のあるもしくは、現在注目されている技術やサービスに関する勉強会を適宜開催し、多様なサービスや新たなビジネスモデルの開拓・展開に寄与していく。他部会との交流。

5. 情報セキュリティ部会

部会長	立石 聡明	有限会社マンダラネット
副部会長	秋山 卓司	日本クロストラスト株式会社
副部会長	瀬田 陽介	インフォリスクマネージ株式会社

インターネット関連分野の発展が目覚しい中、個人情報漏洩、フィッシング詐欺、重要なシステムの予期せぬ停止等が、重要な問題として認識されるようになってきました。プライバシー情報をはじめとする情報資産を預かり、またはそれら情報の流通にかかわる業者の立場から、安全・安心なネットワーク社会の実現を通して顧客の信頼と期待にこたえていくことが我々インターネットプロバイダーとその関連業界の重要な責務であると考えます。その一方で、社会全体の情報セキュリティの確保には、我々業界の取り組みだけではなく、関連省庁および外郭団体等をはじめとする他団体との協調・協力が不可欠であり、当部会はそれらに対する窓口としても、活動を広げてまいりたいと思っております。

本年度は、昨年度から活動している OP25B (Outbound Port25 Blocking) 連絡会を継続・充実するとともに、サーバを含むネットワーク環境の脆弱性に対する対応・対策・広報と、脆弱性の定量化手法として注目されている CVSS に関する勉強会・研究を行い、当協会で行っている「安全・安心マーク」の診断基準への適用を検討して参ります。また、IPv6 に関するセキュリティや、フィッシングに代表されるネット犯罪・悪用への対策も視野に入れ、インターネット関連事業者として望まれる情報セキュリティに関する専門知識の向上と情報交換、および啓発活動を目的として昨年度以上に活動をしていきたいと思っております。

今後の活動予定

- ネットワーク環境の脆弱性に関する勉強会の開催
- CVSS (脆弱性の定量化方法) の安全・安心マークへの適用に関する研究
- フィッシングの現状と対策を検討
- NGN と IPv6 のセキュリティを考える。
- その他情報セキュリティ関連の勉強会の開催
- セキュリティカンファレンスの開催
他団体との連携によるセキュリティ関係のカンファレンス
- OP25B 連絡会
<http://www.op25b.jp/>の Web の充実
送信者認証について

6. 女性部会

部会長	小林 洋子	NTT コミュニケーションズ株式会社
副部会長	佐々木 洋子	フュージョン・ネットワークサービス株式会社
副部会長	栗林 真由美	ニフティ株式会社
副部会長	梅津 美恵子	株式会社国際調達情報

部会立ち上げから 1 年が経過しました。インターネット上で活躍している女性を講師に迎え、数回にわたり勉強会を行い、他部会と合同部会も開催しました。

インターネット事業の中で働く女性たち自身が、同じ業界の者同士、企業の枠組みを超えて互いの問題や悩みを共有し解決していく、そのことが生活者としての女性ユーザーの問題解決につながり、ひいては日本のインターネット全体の発展につながるのではないかと考えております。今後も女性部会内はもとより、他部会との連携を持ち、メンバーの意識向上を目指していきたいと思っております。

また、最もユーザーに近いインターネット事業者として、セキュリティの知識の向上、インターネットの便利な使い方、インターネットを苦手だと思っている方々への不安解消のための対策、多くの女性たちが使いこなせるように業界として応援することができればと思っております。

本年度は、昨年同様に外部講師による勉強会を 5 回程度行い、メンバーが発信するミニ勉強会も開催します。昨年到手がけたアンケートを回答しやすいように調整を行い、そのデータを元に意見交換をしたいと思っております。また、インターネット・女性・働く・意識の向上・自分を磨く・知識等をカテゴリとしてブログも立ち上げ、幅広く外部に発信していきたいと思っております。

今後の活動予定

- 外部講師による勉強会及び親睦会の開催
- メンバーによるミニ勉強会（主にその会社の内容・自分の仕事）
- 女性の雇用をテーマにしたアンケート調査
- 各種イベントへの参加
- Blog による情報発信と SNS による情報交換
- ワークライフバランスについて

7. 次世代ネットワーク (NGN) に関するワーキンググループ

今年度は、昨年度末の NTT NGN 商用サービスの開始に続き、ISP 事業を取巻く環境が大きく変わる年になるものと思われます。これらの動きに対応して、主に ISP 事業を中核としたインターネット関連事業の事業者団体である JAIPA は積極的に意見を発信することが重要になります。また、会員向けに情報を提供するために、勉強会等の開催を行うことを考えています。

次世代ネットワークやインターネットの政策に関する JAIPA としての検討・意見集約の場として当 NGN-WG は次の活動を行います。

- (1)「インターネット政策懇談会」や「通信プラットフォーム研究会」等の総務省や関係団体等が開催する次世代ネットワークやインターネットに関する重要な会議等には JAIPA とし参加するとともに、JAIPA としての意見を集約して反映させる。
- (2)次世代ネットワークの IPv6 接続サービスの方式について関係団体等と検討を行い ISP としての意見を反映する。
- (3)総務省等からの次世代ネットワークやインターネットに関連した意見公募に関する意見提出を行う。
- (4)総務省等からの次世代ネットワークやインターネットに関連した ISP 事業に関する意見照会やヒアリングに対応して意見を提出する。
- (5)インターネットに関する動向等に関する勉強会・説明会を企画する。

8. インターネットガバナンスワーキンググループ

インターネットの普及にともない、日本においてもかなりの数のドメイン名が登録されており実際に使用されています。ドメイン名に関しては **whois** への開示、プライバシー保護、サイバースクワッター、UDRP 等々、様々な問題や解決されなければならない事柄がありますが、日本においてはこれまでこれらドメイン名などのインターネットの資源管理に関連する話題について議論を行う場所がありませんでした。このような問題に取り組み、必要に応じて政府への働きかけを行う等、積極的に関与していきたいと考えています。

本年度は、新 **gTLD** 導入プロセスによる新規 **gTLD** の情報収集および、それらの **gTLD** のインターネットドメイン空間への意義や意味、IDN の **TLD** の **ICANN** および、インターネットガバナンスにおける取り扱い (**ccTLD** と「.日本」) 問題。ドメインパーキングや、ドメインのセカンドマーケット等の動向調査を行って行きたいと思っております。

今後の活動予定

- 各種イベントへ参加し、インターネット資源管理の情報発信および啓蒙活動を行う
- **ICANN**、海外のレジストリとの意見交換
- 関連省庁及び外郭団体等をはじめとする他団体との協調・協力
- ドメイン名関係の **Web** の公開